

ライフの学校新聞

Vol.5

2023年
秋
あきごう 号

秋の グルホ の庭

開所から1年半が経つ「ライフの学校グループホーム幸町キャンパス」。グループホーム（グルホ）の庭には松やオリーブ、ガウラなどが植えられています。夏の猛暑でも「俺がやらないと誰もやらないんだ」と熱心に水やりをしてくれるパートナー（利用者さん）がいます。地域のこどもたちが遊びに来るのが嬉しくやりがいにも。涼しい季節はウッドデッキで草花を見ながらスタッフも一緒に日向ぼっこをしています。お近くにいらした際は、ぜひひと休みしてください。

オリーブ

じゅれい しょうちよう
樹齢が長く平和の象徴。

ガウラ

しよか 初夏から秋に白い花が開花するアカバナ科の多年草。伸びた茎の先端に蝶に似た白い花が無数に開花し、その花の姿からハクチョウソウ（白蝶草）という和名があります。大きな株一面に蝶が舞うように咲く姿は、風情があり繊細な雰囲気です。

松

たかまつ
グルホのある青葉区高松の地名の由来となった木。

水やりをするパートナー。



文：岩槻幸展、佐藤美月、
立花ゆりえ、菅野知香

先輩レシピ！

和子さんのタルタルソース



らっきょうを使うのがポイント。パン、フライなど何でも合います。らっきょうが苦手な方は少し炒めるのがおすすめ。

- ① 卵1個を固ゆでする
- ② 玉ねぎ1/2、市販のらっきょう漬け1袋を粗みじんに漬け汁は少し残しておく
- ③ 玉ねぎをシャキッと感が少し残る程度に炒める
- ④ ③に卵、らっきょう、マヨネーズ（量はお好み）を入れてよく混ぜる
- ⑤ ④にらっきょうの漬け汁を入れ、塩コショウで味を調えて完成



文：片山晴香

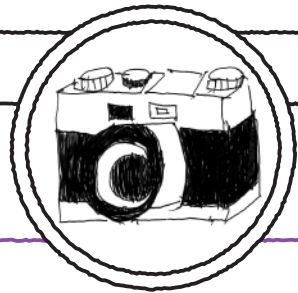
いちちゃん、きちゃんの日常

ライフの学校の癒しの存在、ゆきちゃんとめいちゃん。雑草や野菜などをあげにたくさんの方が来てくれます。なかでも就労パートナーは2匹がとっても大好き。にんじん、きゃべつや白菜などをあげると喜んで食べています。雑草も大好きなので、ぜひあげてみてください。

※ただし果物やクローバーはお腹を壊すことがあります



文：青砥香織



お の き こ いち まい
小野木あい子さんの一枚

家族とともに、孫の誕生を祝って



孫の誕生を祝う家族写真。あい子さんは左から3番目。

大変な時代を
乗り越え過す、
家族との日々

夏が来ると思い出す仙台空襲。
戦争を知る世代が少なくなった
現代に語る、
あい子さんの思いとは？

じ たく ぼうくうごう
自宅の庭に防空壕

あい子さんの自宅は現在の若林区成田町にあり、裕福なく暮らしをされていたようです。戦時中、自宅に防空壕をつくる家は珍しかったようですが、お兄さんの「いつか仙台もひどい目に合う」という言葉を聞きお兄さんの主導のもと、とにかく立派で嚴重な防空壕をつくったそうです。「家みたいに住める防空壕。穴掘って電気も通して、茶軍需から布団から全部入れたんだから。いまでも忘れられない……」と話します。

仙台空襲のこと

1945年7月10日、1000人以上の犠牲者を出した仙台空襲。午前0時ごろより約2時間にわたって1万発以上の焼夷弾が投下されました。16歳だったあい子さんは自宅の防空壕に避難し難を逃れましたが「飛行機が飛んできてさ、

爆弾が降ってきて。(空襲は) まちのほうだけで成田町にはこなかったけれど音だけは聞いて。シューって音と一緒に昼間のように明るくなって。爆弾落とす前に油をまく音だったのかな」とまちが燃える灯りと音が衝撃だったそうです。空襲のあとお友だちと学校へ向かうあい子さん。「電柱にまだ火がついていて倒れそう」ななか、焼け野原を歩かれたそうです。「こんなことは二度とあってはダメなんだ」。実際に体験されたからこそその心を揺さぶられる言葉でした。

戦争はなんにもプラスにならない

仙台空襲を体験されて「あんな思いはしたくない」と聞き取りのなかでよく話していました。ウクライナへのロシアの軍事侵攻をニュースで見ると「低空飛行で飛行機が飛んでくるなんて……。戦争なんてなんにもプラスになんないさ、早くやめたらいいさ」と戦争はしてはいけなと話されています。



小野木あい子さん

1929年2月25日生まれの94歳、若林区成田町育ち。24歳で結婚し一男一女に恵まれる。58歳で夫と死別後、長男夫婦が共働きだったこともあり、孫の世話をしながら80代まで着物を着て生活していた。



聞き手：高橋香織
文：佐々木亜優美

このまち インタビュー Vol.5

しょうじのりこ
庄子紀子さん 学習支援教室の先生

しえん
どうして学習支援教室の先生になったのですか？



ぜんにん しょうかい こうれい
前任の先生からの紹介がきっかけでしたが、高齢の方からこども
までみんなで成長していく「学びの場」という考え方に共感し、わ
たしもそこに携われたらいいなと思って手を挙げました。「最近のこどもは」
みたいに言われることもあるけれど、こどもの優しさや可能性って変わらずにあ
ると思うんですね。たとえば、わたしが靴を脱いだり教室の準備をしている間も
ずっとエレベーターのドアを開けて待っていてくれる子がいたり、ちょっとした
ときにこどもたちの優しさを感じます。

学習支援教室はどのような場所を目指しているのでしょうか？

さく いがい
まだ探りながらですが、学習をメインにこどもたちにとって家や学校以外の「第三の
場所」になったらと思っています。先生という肩書きではありますが、ある意味先
生とは違う立場で、こどもたちが気兼ねなく、思っていることを喋れるような雰囲気
をつくれたらと考えています。こどもって、こども同士のかかわりだけじゃなくて、ど
んな大人とかかわるかも重要だと思うんですね。自分のことを見守ってくれる、安
心できる大人とかかわるって大事ななと。そういうところまで担えたらと思っています。

このまちでお気に入りの場所はどこですか？

おきの ころ
父の実家が沖野にあるので、こどもの頃からすごく身近な場所だったんですね。
昔と比べるとだいぶ風景は変わってしまったんですけど、田んぼが広がっていて、
道を歩いていたらすれ違う人に「こんにちは」って気軽に言える。そんな光景の一
つひとつが好きで、この地域の雰囲気全部がお気に入りなのかなと思います。

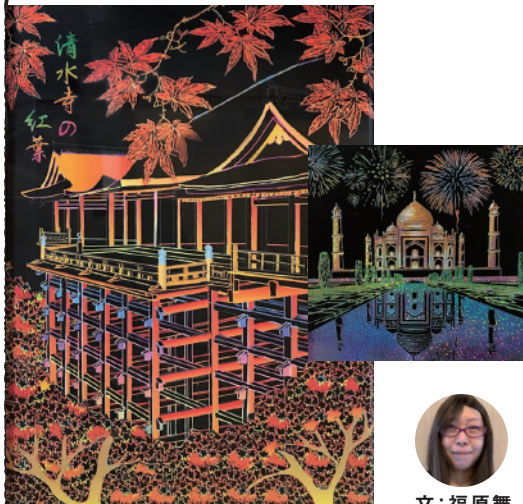


1965年生まれ、仙台市出身。
大学卒業後は宮城や福島の小
小学校や特別支援学校、大阪
の視覚障害者のリハビリテ
ーションセンターに勤務。
ライフの学校では、2023年
から毎週金曜日に小学4〜6
年生を対象に、無料で学校の
宿題や苦手な教科を教えてい
る。また、視覚障害者の就労
支援ボランティアにも参加中。



聞き手・文：
勝美優
板垣浩太

小さな美術館



「キミさんの スクラッチアート」



「やっぱり頭も使わないとダメになるし、このままボケたら困るものね」と笑
いながら話すのは、御年98歳となる小野キミさんです。お部屋をのぞくと、
計算問題や漢字の練習をしたり野球観戦をしたりして「やることがいっ
ぱいあって大変だわ」とのこと。

たんじょうび
スクラッチアートをはじめたのは、スタッフに誕生日プレゼントでもらったこ
とがきっかけ。スクラッチとは「削る」の意味で、台紙を削って絵を完成させ
ます。「最初はいくつか色も少なかったからどうなんだろうって思ったけど、やりはじめ
たらすごく生きがいを感じるなって。まだできてないものもたくさんあるのよ」。
きせつ はぎ ろうか かざ
完成した作品は、季節に合わせて萩の風キャンパスの廊下に飾られています。



文：福原舞

ライフの学校とは



ふくし しせつ ち いき
福祉施設を地域にひらき、さまざまな

ひとが集う「学びあいの拠点」にしてい

る社会福祉法人です。現在は、萩の風

キャンパスのほかに霞目・上飯田・幸町・

新田の全部で5つのキャンパスと畑が

あり、高齢者福祉、障害者福祉を中心に

さまざまなプロジェクトを行っています。



社会福祉法人
ライフの学校
<https://gakkou.life>

萩の風キャンパス 仙台市若林区上飯田字天神1-1

【利用案内】※どなたでも利用できます

嫁入りの庭

入居するパートナーと一緒にかつての嫁入り道具のようにやっ
てきた家具や植木のある庭。ベンチには電源も。出入り自由。

◎24時間365日(年中無休)

ライフの図書館

福祉や地域に関する図書が並び、自習室としても利用できます。

◎時間＝9:00-18:00(金曜は15:30まで)

駄菓子屋「かみふうせん」

看板猫のふうたもお待ちしています。

◎時間＝10:00-16:00(年中無休)

こども食堂「おかえり」

嫁入りの庭でとれた野菜も使用した料理は好評！

◎日時＝第3土曜、12:00-14:00

そのほかのイベント ウェブサイトでご確認ください。

霞目キャンパス 仙台市若林区霞目2-14-26

ウェルカム! カフェ 日替わりはインスタストーリーをチェック！

◎日時＝火～土曜(祝日営業、日・月曜休み)、10:00-16:30

ライフの学校



instagram



ウェルカム! カフェ



instagram



編集後記

幸町キャンパスのリビングの大きな窓から見える庭は、四季折々の風
情を楽しめる素敵な場所です！特に春は、ウッドデッキで春風を感じ
ながらパートナーたちと過ごす日光浴タイムは最高です。おいしい
コーヒーを飲みながら「気持ちいいね～」と、綺麗な花々を眺め会話
も弾みます！ぜひ、遊びに来てください。佐藤(み)

ライフの学校新聞 Vol.5 2023年秋号
発行日：2023年10月19日
発行：社会福祉法人ライフの学校
宮城県仙台市若林区上飯田字天神1-1
022-289-8555

発行人：田中伸弥 [ライフの学校]
編集：堀内直美＋守安里沙＋立花ゆりえ＋菅野知香＋青砥香織＋片山晴香＋高橋香織＋佐々木亜優美＋板垣浩太＋勝美優＋福原舞＋
佐藤美月＋岩槻幸展 [ライフの学校]、川村庸子、佐藤惠美
デザイン：阿部航太
イラストレーション：阿部貴志＋安川皓＋菅浪あけみ＋岡崎圭＋田中佑香＋板垣浩太 [ライフの学校]

おしらせ

福祉先進国、北欧に視察へ

2023年5月、理事長の田中がスウェーデンとデンマークに視察
へ行ってきました。ライフの学校のコンセプトのもとになった
「フォルケホイスコーレ」という北欧独自の教育機関を訪れた経
験や、それぞれの国の歴史や文化、制度、職員教育や福祉サー
ビスの違いなどについてウェブマガジン『こここ』に寄稿してい
ます。「社会のなかでその人の文化を尊重する」ことを学び、10
年後に見たい風景について考える大きな手がかりとなりました。



スウェーデン・デンマークの介護施設をたずねて「ライフ
の学校」田中伸弥さんによるレポート

スウェーデン・デンマークの介護施設をたずねて
「ライフの学校」田中伸弥さんによるレポート
<https://co-coco.jp/series/report/nobuyatanaka>



土曜に開講！人生を聞く講座「ライフストーリー学」

毎週土曜日に各キャンパスで開催しているさまざまな「ウィークエ
ンドプログラム」。そのなかの一つ「ライフストーリー学」は、人生
の先輩であるパートナー（利用者さん）にこれまでの人生について
話を聞く講座です。スタッフが語り手の話した言葉をそのまま書
き止め、語り手が目の前で話しているかのようにまとめる「聞き書
き」という手法でつくった本がもとになっています。「ライフスト
リーブック」は現在30冊。ライフの図書館でぜひご覧ください！



ウィークエンドプログラム、ほかにもいろいろ開催中！
<https://gakkou.life/program>

